



Tokyo Gakugei University Repository

東京学芸大学リポジトリ

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

Title	帰国生徒の実態報告 : 58期
Author(s)	板村, 邦弘; 愛甲, 修子; 杢元, 新一郎; 雨宮, 真一; 堀内, 順治; 中前, 太郎; 福泉, 悦也
Citation	国際中等教育研究 : 東京学芸大学附属国際中等教育学校研究紀要(1): 75-94
Issue Date	2008-03
URL	http://hdl.handle.net/2309/89467
Publisher	東京学芸大学附属国際中等教育学校
Rights	

帰国生徒の実態報告

－ 58期－

担任 板村邦弘 愛甲修子 松元新一郎 雨宮真一 堀内順治
中前太郎 福泉悦也

1. 学級編成

第58期においては、平成16年4月から平成18年9月までの間に、合計20人の帰国生徒が入学あるいは編入学した。入学・編入学の時期と人数は、次の通りである。

(表1) 第58期生帰国子女の入学・編入学

	男子	女子	在籍者合計	備考
平成16年4月	5	4	9	
9月	2	3	14	
17年4月	1	2	17	
9月	0	1	18	
18年4月	1	0	19	
9月	0	1	19	女子1名転出
在籍者数	9	11	20	
卒業生数	9	10	19	

各学年の学級編成については、57期生と同じであるが、年次ごとに簡単に記しておく。

[1年次の編成]

従来通りの帰国子女だけの独立学級方式をとり、平成16年度4月入学の男女9名をまとめて1年4組にした。同年9月の編入生5名もこの学級に入れた。

[2年次の編成]

前年同様、4学級全てに帰国子女を混入する混入編成方式をとった。平成17年4月編入生3名(男子1名女子2名)を加えた17名を表2のように配当した。同年9月の編入生2名(男子1名女子1名)は1組と3組にそれぞれ配当した。2年次の学級編成は次の通りである。

(表2) 2年次の編成

学級	生徒数			帰国子女生徒数			帰国子女の 占める割合 (%)
	男子	女子	計	男子	女子	計	
1組	17	17+1	34+1	2*	2+1	5	14.3
2組	17	17	34	2	2*	4	9.1
3組	17	18	35	2	3*	5	14.3
4組	17	17	34	2	2	4	11.8
計	68	70	138	8	10	18	13.0

・「*」は、4月編入生1名を含むことを示す。

・「+1」は、9月編入生を示す。

[3年次の編成]

3年次も、前年同様、4学級全てに帰国子女を混入する混入編成方式をとった。平成17年4月編入生2名（男子1名女子1名）を加えた1名を表3のように配当した。同年10月に男子1名（3組）が転出した。同年9月の編入生2名（男子1名女子1名）をそれぞれ1組4組に配当した。3年次の学級編成は次の通りである。

(表3) 3年次の編成

学級	生徒数			帰国子女生徒数			帰国子女の 占める割合 (%)
	男子	女子	計	男子	女子	計	
1組	17	17	34	3*	3	6	17.6
2組	18	18	35+1	2	3+1	6	16.7
3組	17	18-1	35-1	2	2-1	3	8.8
4組	17	18	35	2	2	4	11.4
計	69	70	139	9	10	19	12.4

・「*」は、4月編入生1名を含むことを示す。

・「+1」は、9月編入生を示す。「-1」は、転出を示す。

2. 生育歴

生徒の生育歴・在外地における使用言語および各学年次に所属した学級は次の通りである。

(表4)

氏名	性	主な在外国	年数	使用言語	通学歴	備考
5801	男	アメリカ	7. 6	英語	現地校・補習校	H.16.4入学
5802	男	中国	5. 0	日本語	日本人学校	H.16.4入学
5803	男	カナダ	4. 3	英語	現地校・補習校	H.16.4入学
5804	男	オーストリア・オランダ・イギリス	11. 5	日本語 独語	日本人学校	H.16.4入学
5805	男	アメリカ	12. 4	英語	現地校・補習校	H.16.4入学
5806	女	カナダ・シンガポール	5. 8	英語	IN校・補習校・日本人学校	H.16.4入学
5807	女	イギリス	3. 2	英語	現地校・補習校	H.16.4入学
5808	女	オーストラリア・アメリカ	4. 3	英語	現地校	H.16.4入学
5809	女	アメリカ	4. 6	英語	現地校・補習校	H.16.4入学
5810	男	アメリカ・イギリス	8. 2	英語	現地校・補習校	H.16.9編入
5811	男	ルクセンブルグ・スイス・イギリス	9. 10	英・仏 独語	現地校・補習校・通信教育・日本人学校	H.16.9編入
5812	女	アメリカ・イギリス	8. 11	英語	現地校・補習校	H.16.9編入
5813	女	ザンビア・ナイジェリア・ノルウェー	5. 5	英語	IN校・補習校	H.16.9編入
5814	女	シンガポール	13. 3	英語	IN校	H.16.9編入
5815	男	アメリカ・インドネシア	8. 2	英語・インドネシア語	現地校・IN校	H.17.4編入
5816	女	イタリア・シンガポール	13. 9	英語・伊語	日本人学校・現地校	H.17.4編入
5817	女	アメリカ	6. 10	英語	現地校・補習校・日本人学校	H.17.4編入

5818	女	イギリス・香港・バーレーン	10. 10	英語	IN校・日本人学校	H.17.9編入
5819	男	アメリカ	5. 3	英語	現地校・補習校・通信教育	H.18.4編入
5820	女	アメリカ	4. 11	英語	現地校・補習校	H.18.9編入

(表5)

氏名	性別	在 外 国 ・ 在 外 期 間														1 年 次 学 級	2 年 次 学 級	3 年 次 学 級
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13			
5801	男	←アメリカ3.6→ ←アメリカ4.0→														帰	2	2
5802	男	←中華人民共和国5.0→														帰	3	1
5803	男	←カナダ4.3→														帰	4	1
5804	男	←ハンガリー2.1→ ←オーストリア3.7→ ←オランダ3.0→ ←イギリス2.9→														帰	1	4
5805	男	←アメリカ12.4→														帰	4	4
5806	女	←カナダ1.10→ ←シンガポール3.10→														帰	4	4
5807	女	←イギリス3.2→														帰	2	4
5808	女	←オーストラリア2.3→ ←アメリカ2.0→														帰	4	1
5809	女	←アメリカ4.6→														帰	1	2
5810	男	←イギリス1.8→ ←アメリカ6.6→														帰	2	2
5811	男	←スイス3.4→ ←イギリス1.3→ ←ルクセンブルグ5.3→														帰	3	3
5812	女	←アメリカ7.0→ ←イギリス1.11→														帰	2	2
5813	女	←ザンビア2.2→ ←ノルウェー1.9→ ←ナイジェリア1.6→														帰	3	1
5814	女	←シンガポール13.3→														帰	1	3
5815	男	←アメリカ1.10→ ←インドネシア1.4→ ←アメリカ5.0→															1	3
5816	女	←イタリア8.6→ ←シンガポール5.3→															3	1
5817	女	←アメリカ6.10→															2	3
5818	女	←バーレーン0.4→ ←香港6.7→ ←イギリス3.11→															1	2
5819	男	←アメリカ5.3→																1
5820	女	←アメリカ4.11→																2

3. 学校生活

3. 1. 各学年における特徴

〔1学年〕

（1学期）

58期生1年4組は、男子5名、女子4名の計9名でスタートした。在外年数は、表5のように、最も長い生徒で12年4か月、最も短い生徒で3年2か月であった。人数は女子が少なく、学級の係や執行委員など役割分担が大変であった。58期も班の活動をやっていこうということになり、4組では、一クラスで二つの班ということになった。オリエンテーション期間は、一般クラスが40名いるため配布物や説明などに時間がかかるが、4組はすぐに終わってしまう。そこで、空いた時間を利用して、学校近くにある「牧野庭園」へ散策にでかけた。あとから聞いた話だが、それまで緊張して話ができなかったが、牧野庭園へ行く途中や庭園の資料を見ることで会話が弾んで、緊張感から解放されたと語る生徒もいた。クラス目標は、「少人数でも、協力し合おう・思いやり持とう・楽しくすごそう1年4組」になった。

授業は、人数も少ないこともあり、Uの字型（馬蹄形）の座席の並びを採用した。生徒の使用言語は全員英語であった。日本人学校のみ出身者が1名おり、この生徒は最初苦労したが、大変な努力家で英語圏の帰国生に混じりながら積極的に取り組んだ（この生徒は学級委員長、また、2・3年次は生徒会長も務めた）。例年通りではあるが、どの生徒も、二字熟語、日本の歴史的な固有名詞、日本の地理の固有名詞など不得意で、教えあうことが多かった。

部活動は、野球部、剣道部、テニス部、バトミントン部、合唱部、音楽部、サッカー部に参加していた。男子は自分が本当にやりたい部活動を選んでしたが、女子は相談して合唱部や音楽部に入部したので部活動に対する意識の差が次第にでてきていた。

学級日誌より

4月12日（月）（学級） はじめてみんなと話せて、楽しかった。

4月13日（火）（新入生歓迎会） たくさんの部活を知れて、とても良かった。

4月14日（水）（健康診断） かなりならんだのでつかれたけど、自分の体力や、力が分かったので良かった。

4月15日（木）（執行委員の選出） 皆、やるき満々だった。

4月16日（金）（音楽） 先生の声がとても良かった。

4月19日（月）（理科2） みんな書くときはしっかり書いていたけど、先生が話をしている時はえん筆を置いた方がよいと思った

4月20日（火）（美術） 時間がなくて絵が書き終わらない人もいるくらい真げんに書いていた

4月21日（水）（今日の反省） 今日の遠足の話聞いてすごく楽しみになった。個性豊かな時間割表もでき、みんな忘れ物が少なくなると思う

4月22日（木）（国語） 岳やおとうになりきって文を言っていたのでとてもよかったと思う

4月23日（金）（体育） 3組と協力してタイムや記録をはかっていた。

4月26日（月）（国語） ○○以外みんな漢字の練習をしていなかった。

4月27日（火）（学級） 今回の学級では前より意見が出たと思う。

4月28日（水）（社会）今日は先生がいつもよりダジャレを言っていた気がする。

学級通信より引用

初めての行事は、武蔵丘陵森林公園への遠足であった。サイクリングや野外での昼食作りなどで交流を深めた。

次の行事、運動会では、全員が準備の係になっていて出場種目数も多く大変だったが、学年種目「カウボーイ」優勝することができ、クラスの結束を高めることができた。全員の協力で大きなけがもなく無事終えることができた。

夏の行事「海的生活」では、班別の練習、小遠泳、大遠泳、知的探究の講演会、部屋での生活、室内レク、ビーチファイヤー、下田の街や水族館の見学などを通して、今まで帰国クラスや部活動を中心とした人間関係から、次第に気の合う一般生徒との交流が深まっていく生徒が見られた。

（2学期）

2学期に入り、男子2名・女子3名の編入生を加え、合計14名となり、例年よりも多い人数になった。混入体験学習や2年への足慣らしとして、座席の並びをUの字型（馬蹄形）から前向き4列に変更した。

2年生編入生のうち、女子1名が日本語指導対象者として、本人及び保護者と相談・合意して取り出し指導を受けることになった。日本語指導担当者と連携をとりながら、国語の時間

（週3回）を取り出し、原則として2回は日本語・国語（国語科教諭）、1回は数学（数学科科教諭・学級担任）が指導した。委員会を立ち上げ、取り出し指導の様子・学級での様子・保健室来室の様子など、1年担任だけでなく、各教科担任と連携を保つように努めた。この生徒は生まれてすぐに海外生活が始まり、現地校に通っていたのと姉・兄に囲まれて家庭でもほとんど英語で生活していたために、編入試験時、ひらがながやっとかける程度で、漢字は自分の苗字しかかけず、話し言葉も日本語でたどたどしく話せる程度だった。しかし、面接官の印象では、保有している学力や意欲は高く、将来大きく伸びると感じていた。半年後の2年進級時には、取り出し指導をせずに在籍学級で授業を受けることに対して、どの教員も反対しないほどに努力を重ねて日本の授業に馴染んでいった。

他の編入生のうち、女子の2名は学校外のテニススクールに入った。1人は、2年になり美化委員長を務めてリーダーシップを発揮した。もう1人はもともと学習面に不安を抱えていたが、テニスの海外遠征で何度か授業を休むことがあり、取り戻すのに大変そうであった。

学習面で不安のある生徒（男子1名、女子3名）を放課後に指導することもあったが、生徒・教師の両方の忙しさによって時間が合わないこともあり、定期的に補習することができなかったことが反省点である。

5名の編入生を迎え、総勢14名で生活することになりました。7日には、水泳大会が行われました。クラス優勝はできませんでしたが、自分の持てる力を十分に発揮していました。8日には、席替え（班替え）をしました。新しい仲間、新しいグループで充実した学校生活を送って下さい。

学級通信より引用。編入生も読めるように、ルビをつけるようにした。

2学期最大の行事は、学芸発表会である。1年生は例年合唱コンクールとなる。4組の歌う

曲は、「夕日の向こうに」「笑顔を忘れてしまった君に」「少年時代」になった。練習は学芸発表会実行委員会を中心にまとまりながら活動していたが、前日になって振り付けをどうするかでクラス内で議論がおき、下校時刻になっても話し合いはまとまらないほどであった。自分

(達)の主張をはっきり述べ合う帰国生徒の姿を垣間見た。発表当日の朝は、お互いに少しわだかまりを持っていたが、見事優勝することができ、結果よければすべてよしとなったが、この事件がめいめいの心に刻まれることになる。

ところで、学芸発表会では、例年展示発表が行われる。そのときの感想をみると、自分が海外で体験したことと重ね合わせながら、また、帰国生徒と一般生徒の違いを意識しながら記述している生徒もいた(下記枠囲み参照)。

・私は、堀内先生が南極に行った時に撮ったオーロラの写真が一番印象に残りました。私はノルウェーに住んでいる時にオーロラを見に行きました。ノルウェーのオーロラは緑色で、少しオレンジや赤などが交じっていたりしていました。しかし南極のオーロラは緑色に紫色などが交じっていて、ノルウェーのオーロラとはまた少し違う美しさがありました。

私は機会があれば、堀内先生に南極のお話をお聞きしたいと思います。

二番目に印象に残ったのは、一年生の皆が英語で自己紹介カードです。皆自分や友達や家族の写真などをはって、とてもカラフルに仕上げていました。4組の私達にとって英語は特に問題なく書いたり話したりできると思いますが、1組から3組の人々はそうではないと思います。でも皆一生けん命書いていたと思いました。一人一人の個性が伝わってきました。今日展示されていた作品は、すべてが心がこもって、素晴らしかったです。

学級通信より引用。

教育実習は、6月に2週間、9月に3週間、10月に2週間行われたが、実習生と良好な関係を保った。

11月にはアメリカより中学校の先生が視察・研修で来校した。4組の授業参観のあと、英語科雨宮教諭のコーディネートのもと、ランチを共にした。

12月に行われたスポーツ大会(ハンドボール)では、他のクラスに比べて人数が少ないため2組から補充(助っ人)をしてもらって大会に臨み、優勝することができた。

混入体験学習は、通常11月に約1週間の受け入れ混入体験学習を、1月に約1週間の飛び出し混入体験学習を行うが、この年は、上記で述べたように9月編入生のうち1名を取りだし指導をしていたこと、また、10月下旬に4組(帰国子女学級)の担任が在外教育施設巡回指導班(アジア班)として約10日間出張であったこと等を考慮して、飛び出し混入体験学習を1月に2週間行うことになった。目的・期間・配当は以下の通りで、混入前と混入後のアンケート結果は、資料1・2の通りである。

目的	第2学年での混入編成に向けて、帰国生徒と一般生徒が同一学級で生活を共にすることにより、相互に交流を深め、相互理解・相互啓発の機会を持たせる。		
期間	平成16年1月12日から1月25日(飛び出し混入体験学習)		

配当	1組 (D組) 計 3 2 名	2組 (C組) 計 3 3 名	3組 (B組) 計 3 3 名	4組 (A組) 計 2 5 名
	5901・5904 (男子)	5908 (男子) 5905・5906 (女子)	5902・5903 (男子)	5802・5811 (男子) 5813・5814 (女子)

(3学期)

3学期の初めに「飛び出し混入体験学習」を行った。混入体験学習時には、学級活動の時間にドッチボールを企画したり、学年の行事として、カルタ大会や鍋の会を行い、帰国生徒と一般生徒が相互に交流できる環境づくりを行った。マラソン大会は、体調不良のため見学者がいたが、参加者は全員完走できた。入試準備・卒業式準備・入学式準備では、委員長が中心になって積極的・献身的に作業ができた。

学期の終わりには、学級活動の時間を使って、4組五日並べ大会、また、クラスの文集とカレンダー作りを行った。1年間を振り返りながら、いよいよ帰国クラスが終了するのを名残惜しんだ。

1学期の目標(入学当初作成)と2年生むけての目標(3学期末作成)を比較すると、帰国生の意識が日本・学校の生活や学習に慣れることから、人間関係(一般生)に目を向けた目標が多くなっているのがよくわかる(下記資料参照)

資料 1年4組帰国子女学級の生徒の目標の変化(短冊に記入したものを転記)

5801	(1学期) 数学をがんばりたい。 (2年に向けて) 入学してくる一年生の面倒を見れる先輩になりたい。
5802	(1学期) 中学校生活に慣れ、期末テストに向け勉強に力を入れたい。 (2年に向けて) 一年間のまとめをしっかりし、部活動では都大会出場を目指す。
5803	(1学期) 部活動に力を入れる。 (2年に向けて) 毎日コツコツ勉強。
5804	(1学期) 中学校の生活に慣れ、何事にも努力する。 (2年に向けて) 後輩に負けないように、スポーツも勉強もしっかり取り組む。
5805	(1学期) いろんなスポーツにちょう戦していきたいと思う。 (2年に向けて) 計画をたて、勉強する。
5806	(1学期) 家での学習を身につけてがんばりたい。 (2年に向けて) 健康、家族、命 第一位。勉強、習い事、自由 第二位
5807	(1学期) 算数が苦手だから、得意にしたいです。 (2年に向けて) 一般生達に勉強をおいていかれないようにする。
5808	(1学期) 数学や体育など苦手な教科をがんばりたい。 (2年に向けて) 残りの一年生としての時間を充実させ、誰とでも積極的に気持ちよく接する。
5809	(1学期) 他のクラスの人と仲良くしたい。 (2年に向けて) 期末の点を少しでもあげる。
5810	(編入時) 苦手科目をなくす。 (2年に向けて) 二年生にむけて期末&成績up。
5811	(編入時) 中学校生活に慣れ、また、僕のかけている勉強面を補充したい。

- (2年に向けて) 一般生に負けないように、積極的に勉強する。
- 5812 (編入時) 日本の学校ははじめてなので、友達をたくさんつくりたいと思います。
(2年に向けて) 積極的に人と話し合っ、一般生についていけるようにがんばります。
- 5813 (編入時) 積極的に発言して、海外で学んだことを生かして自分らしく生活する。
(2年に向けて) 何事にも積極的に取り組み、自分から友達をつくる。
- 5814 (編入時) 日本語をもう少し上手に話せるようになること。かん字を一つでも多く覚えること。
(2年に向けて) 一般生と友達になる。一年四組の時と同じように新しいクラスでもがんばりたいです。

(知的探究の授業)

1年次の「知的探究」の授業では、クラスごとに課題に取り組むのではなく、他のクラスとの交流ができるように、クラスを縦割りにして班編成を行った。1年間を通して「今、人間は、」というテーマを設定して、1学期は海の生活に向けた調べ学習と発表、2学期以降は「世界遺産」についての調べ学習とディベート(論題例:「文化遺産の登録基準は厳しくするべきである」「富士山は世界遺産に登録するべきである」など)を行った。世界遺産をテーマとしたので、帰国生徒にとっては、取り組みやすいテーマであった。

[2学年および3学年]

2・3年次の学級配当は下記のようになった。

2年1組	5804・5809・5814・5815 ・5818	3年1組	5802・5803・5808・5813・5816 ・5819
2年2組	5801・5810・5812・5817	3年2組	5801・5809・5810・5812・5818 ・5820
2年3組	5802・5807・5811・5813 ・5816	3年3組	5811・5814・5815・5817
2年4組	5803・5805・5806・5808	3年4組	5804・5805・5806・5807

2・3年生の学級編成で配慮した点は、日頃から行動を共にすることの多い生徒同士を別々の学級に配当することと、他の一般生との兼ね合いで、リーダー性をよく発揮する生徒を各学級に分散させることであった。1年から2年への段階では、生徒はそれぞれのペースで新しい学級になじんでいったが、これは1年次知的探究や学年行事でのクラス縦割りでグループ活動、そして、混入体験学習を経験したことが大きいと思われる。また、クラスが別々になっても、ある場面(放課後や下校時など)では、帰国生が集まって会話する場面も随所に見られた。1年次帰国クラスの担任教諭が3年生のときに転出する際も、旧1年4組のメンバーが集まって1枚の色紙をかいたことから、自分たちのルーツは帰国クラスにあることの意識がそうさせたと考える。

表7を見て分かるように、2・3年次の生徒会活動・学級会活動において生徒会会長・生徒会副会長・選挙管理委員長・美化委員長を務めた生徒らをはじめ、同一の委員会に継続的に所

属したり、幅広く委員会・係を経験するだけでなく、部活動でも部長など中心的な存在である生徒が数多く見られ、一般生徒全体の中でもその積極性を発揮した生徒が多かった。

2・3年次に途中編入してきた帰国生は、男子が2名、女子が4名であった。男子の2名のうち、2年次に編入した生徒は野球部に所属し友達の輪が広がっていった。3年次に編入した男子は当初学習面において海外とのカリキュラムの違いから日本の学習に慣れるのが大変であったが放課後の補習などを通じて徐々に馴染んでいったこと、水泳が得意で毎年9月に行われる水泳大会では大活躍してクラスでも一目置かれたこと、さらに合唱部で学校内外での発表に参加したことなどで、学校生活を楽しむようになった。女子の4名のうち、2年次4月に編入した2名は、バスケットボール部、ダンス部・音楽部に所属し友達の輪が広がっていった。特にダンス部・音楽部に所属した女子は、2・3年とも学芸発表会で両方の部活動とも舞台発表する活躍ぶりであった。2年次9月に編入した女子は、2年の間はなかなか自分の居場所が掴めなかったので学級担任や養護教諭をはじめとして、学年の担任全員で支援する体制を整え、3年次になると安定した生活を送れるようになった。また、3年9月に編入した女子は、3年後期も3年生が活動が続けていたダンス部に入部し友達の輪が広がっていった。学力が比較的高く学習面もほとんど問題なかったため、最後の編入生とは思えないほどとけ込んでいった。

このように、本校で用意されていた学校生活のさまざまな活動場面で帰国生の多くがその多様な資質を発揮でき、それによって自信を深め、人間関係を順調に広げてくることができたと言えよう。

4. 進路について

58期生の進学先は、①本学附属高校大泉校舎7名、②帰国子女受け入れ校1名、③一般高校（附属高校を含む）11名というように大別される。これを過去6か年の進学状況の推移を表で見ると次のようになる。

（表6）

校 種	52期	53期	54期	55期	56期	57期	58期
本学附属高校 大泉校舎	33	38	40	22	32	19	37
帰国子女受け 入れ校	19	24	10	22	21	13	5
一般高校	48	38	50	56	47	68	58

（注 単位は%）

- ・本学附属高校大泉校舎について、出願資格には、19名が該当した。そのうち7名が進学を希望し、合格した。
- ・帰国子女受け入れ校への進学については、1名が東京都立国際高等学校へ進学した。
- ・一般高校への進学者は11名であった。そのうち本学附属高校へ進学した生徒は2名である。他の9名は一般の私立高校へ進学した。

(表7) 帰国生徒特別活動記録

氏名	性別	入学編入学年月	生徒会役員・委員						学級会(三役)						クラブ・部		
			1年		2年		3年		1年		2年		3年		1年	2年	3年
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
5801	男	H.16.4入学	保健・放連	保健・体育	副会長	副会長	書記・班長・環境・学習・レク	書記・美化・環境・学習	班長	学習	班長	学習	野球部	野球部	野球部	野球部	
5802	男	H.16.4入学	中央・体育	中央・風管	会長	会長	委員	委員	委員	委員	委員	委員	野球部	野球部	野球部	野球部	
5803	男	H.16.4入学	購買・学発	送別会	購買	購買	書記・学習・副班長	書記・環境	書記・園芸	書記・園芸	書記・園芸	書記・園芸	剣道部	剣道部	剣道部	剣道部	
5804	男	H.16.4入学	風管・新聞	購買	風紀管理	風紀管理	会計	会計	会計	会計	会計	会計	テニス部	テニス部	テニス部	テニス部	
5805	男	H.16.4入学	風管・選管	風管・選管	風管・選管	風管・選管	会計・学習・会計・学習	会計・学習	学習	環境	環境	学習	野球部	野球部	野球部	野球部	
5806	女	H.16.4入学	図書	学発	美化	美化	園芸	園芸	園芸	園芸	園芸	園芸	水泳部	バドミントン部	バドミントン部	バドミントン部	
5807	女	H.16.4入学	美化・選管	美化・選管	選管	選管	学習・美化・環境	学習・美化・環境	園芸	園芸	園芸	園芸	バドミントン部	バドミントン部	バドミントン部	バドミントン部	
5808	女	H.16.4入学	中央	中央	選管	選管	副委員長・副班長	副委員長・副班長	環境	環境	環境	環境	合唱・音楽部	合唱・音楽部	合唱・音楽部	合唱・音楽部	
5809	女	H.16.4入学	体育・図書・放連	中央・送別会	選管	選管	班長・美化	班長・美化	班長・園芸	班長	班長	班長	合唱・音楽部	合唱・音楽部	合唱・音楽部	合唱・音楽部	
5810	男	H.16.9編入学	放連	放連	送別会	送別会	班長	班長	学習	学習	園芸	園芸	卓球部	卓球部	卓球部	卓球部	
5811	男	H.16.9編入学	新聞	新聞	購買	購買	購買	購買	購買	購買	購買	購買	バスケット部	バスケット部	バスケット部	バスケット部	
5812	女	H.16.9編入学	美化・図書	体育	体育	体育	学習・班長	学習・班長	環境	環境	環境	環境	環境部	環境部	環境部	環境部	
5813	女	H.16.9編入学	体育	体育	美化委員長	美化委員長	副委員長	副委員長	班長	班長	班長	班長	環境部	環境部	環境部	環境部	
5814	女	H.16.9編入学	保健	保健	購買	購買	班長	班長	班長	班長	班長	班長	テニス部	テニス部	テニス部	テニス部	
5815	男	H.17.4編入学	放連	放連	風紀管理	風紀管理	購買	購買	購買	購買	購買	購買	バスケット部	バスケット部	バスケット部	バスケット部	
5816	女	H.17.4編入学	放連	放連	購買	購買	購買	購買	購買	購買	購買	購買	バスケット部	バスケット部	バスケット部	バスケット部	
5817	女	H.17.4編入学	放連	放連	購買	購買	購買	購買	購買	購買	購買	購買	バスケット部	バスケット部	バスケット部	バスケット部	
5818	女	H.17.9編入学	放連	放連	購買	購買	購買	購買	購買	購買	購買	購買	バスケット部	バスケット部	バスケット部	バスケット部	
5819	男	H.18.4編入学	放連	放連	購買	購買	購買	購買	購買	購買	購買	購買	バスケット部	バスケット部	バスケット部	バスケット部	
5820	女	H.18.9編入学	放連	放連	購買	購買	購買	購買	購買	購買	購買	購買	バスケット部	バスケット部	バスケット部	バスケット部	

<資料1> 混入体験学習 事前アンケート

・ 集計結果

1. 混入体験学習をすることになって、あなたはどんな気持ちですか。	一般生					帰国生	
	A組	B組	C組	D組	合計		
ア. うれしいなあ	4	9	10	1	24	2	
イ. 特別な気持ちはない	9	24	23	31	87	7	
ウ. クラスに残りたかったなあ	8	0	0	0	8	5	
2. 今回の混入体験学習が2週間であることについて、あなたはどのように考えますか。	一般生					帰国生	
	A組	B組	C組	D組	合計		
ア. もっと長い方がよい	2	3	0	3	8	0	
イ. もっと短い方がよい	4	2	6	2	14	4	
ウ. ちょうどよい	11	25	22	21	79	8	
エ. わからない	4	4	5	6	19	2	
3. 2の質問で、ア または イ と答えた人に質問します。どれくらいの期間がよいと思いますか。「何日ぐらい」あるいは「何週間ぐらい」と答えてください。	一般生					帰国生	
	A組	B組	C組	D組	合計		
4週間ぐらい	2	1	0	2	5	0	
3週間ぐらい	0	1	0	1	2	0	
1週間ぐらい	3	1	3	1	8	3	
3日ぐらい	0	0	2	0	2	1	
1日ぐらい	0	0	1	0	1	0	
ないほうがよい	0	0	0	1	1	0	
4. 混入体験学習の2週間について、どのようなことを期待していますか。また、不安に思っていますか。次の各項目について、期待には○を、不安には×をつけ、その理由を具体的に書いてください。	一般生					帰国生	
	A組	B組	C組	D組	合計		
ア. 教科の学習	○	14	26	24	22	86	5
	×	6	4	5	8	23	9
イ. 友人関係・友達作り	○	17	31	27	22	97	8
	×	4	0	6	9	19	6
ウ. 学習態度・やる気	○	18	24	19	25	86	8
	×	3	5	9	2	19	4
エ. 新しい班での活動（昼食も含む）	○	12	26	24	25	87	7
	×	7	1	7	5	20	7
オ. その他のこと	○	8	12	10	6	36	2
	×	2	3	1	3	9	4

5. 混入体験学習のクラスの学習は、どの教科でプラスになると考えますか。その教科に○をつけ、その中の1つについて理由もかいてください。また、マイナスになると思う教科があれば、その教科に×をつけ、その中の1つについて理由もかいてください。

授業名	一般生					帰国生	
	A組	B組	C組	D組	合計		
国語	○	7	6	4	9	26	9
	×	3	3	3	3	12	5
書写	○	6	1	5	6	18	1
	×	0	0	2	2	4	2
社会	○	5	3	2	4	14	5
	×	1	0	1	0	2	3
数学	○	3	2	0	4	9	3
	×	3	1	0	0	4	3
理科1	○	7	3	0	4	14	2
	×	0	0	0	0	0	3
理科2	○	6	2	1	4	13	2
	×	0	0	0	0	0	3
音楽	○	6	8	5	5	24	4
	×	5	0	2	2	9	2
美術	○	7	3	4	7	21	2
	×	1	0	0	0	1	2
保健	○	4	1	1	3	9	1
	×	1	0	0	0	1	2
体育	○	6	9	5	7	27	6
	×	2	0	0	0	2	1
技術	○	5	3	1	5	14	1
	×	1	0	0	0	1	3
家庭	○	5	2	1	5	13	2
	×	2	1	0	0	3	3
英語	○	13	29	30	23	95	5
	×	1	0	0	5	6	5
異文化	○	12	25	20	21	78	4
	×	2	0	2	3	7	4

② 4組(帰国生)の記述の部分

4. 混入体験学習の2週間について、どのようなことを期待していますか。また、不安に思っていますか。次の各項目について、期待には○を、不安には×をつけ、その理由を具体的にかいてください。

ア. 教科の学習

プラス

- ・人によって考え方が違うから、色々な意見が出そうだから。
- ・やはり一般生の方が勉強が出来て頭がいいから。
- ・他の人よりも勉強が遅れているというわけではないから。
- ・ちょっと英語のレベルがさがるかあ・・・って思うけど、少しあがるかもしれないような気がするからです。
- ・班での活動に期待しています。

マイナス

- ・皆についていけるかが不安。2名
- ・いつも四組でやっていたので、ついていけないかと心配です。
- ・あまり日本語が上手じゃないので、ついてけるか不安。
- ・周りとは少し環境が違うから。
- ・授業についていけるか心配。
- ・クラスの人数が多くなったので、聞きにくいところがあるからです。
- ・発言をすると、周りの人がしっとして、イヤミをいつてくる事。
- ・レベルがもっと高いから。

イ. 友人関係・友達作り

プラス

- ・新しい友達ができるから。
- ・友達がたくさんいるし、皆やさしそうだから。
- ・二組の子とはよく話すので、友達がおっばいできるようになりたいです。
- ・知り合いも何人かいるから。
- ・けっこう知り合いが多くいるから。
- ・体育の時間とかでいっしょになったことがあるので、なかよくやっていけそうです。
- ・1～3組の人と普通に友達になれるか。
- ・今はまだあまり親しい友達がいないので、人数も多くなったこのきかいにもっと友達を作りたいから。
- ・二年生になったらクラスが変わるから、今友達を作れば、二年生になったら同じクラスのチャンスが高い。

マイナス

- ・一般生は、私のことを帰国しじょという特別な目で見てるし、話も合わないから。
- ・ちゃんと友達が作れるか。
- ・あまり知っている人がいないから。
- ・もうクラスの人には友達やグループができていると思うので、うちとけられないかと思います。
- ・帰国生だから。なんか、いじめられたり、クラスのかってとかがまだわからないので、何か間違えるといやだなあと思います。

ウ. 学習態度・やる気

プラス

- ・人数が増えたことでどのような授業になるか楽しみだから。
- ・やらないとおくれちゃうから。
- ・みんなについていけるように努力したいです。
- ・学習態度はどのクラスでも変わらず集中するから。
- ・みんなについていけるか不安だが、ついていく気はいっぱいあります。
- ・人数が多くなったので、いろいろなことにはつげんしたいです。
- ・みんながどういう人が調べたいです。

マイナス

- ・少しいろいろな面で不安があるから。
- ・授業中も緊張して時々授業の内容もわからなくなったらいやです。
- ・発言等をするたびにイヤミをいわれそう。

エ. 新しい班での活動(昼食も含む)

プラス

- ・色々な話ができそうだから。
- ・4組だといつも英語で話すので、日本語で話すのが楽しみです。
- ・新しい班でいろんなことをしていきたい。
- ・いろいろな人たちと話したりできるので楽しみです。
- ・班長だから活動やちゅうしょくは大事なので、がんばりたいと思います。

マイナス

- ・初めて話す人ばっかで、昼食もうるさそうだから。
- ・知らない人だらけなので不安。
- ・班にとけこめるか心配だ。
- ・あまり班の人のことを知らないので、性格がわからないとやりづらいから。
- ・班の中にもうちとけず仲間はずれにされそうで心配です。
- ・周りの会話とかに入っていけそうじゃないから。
- ・会話についていけるか。

オ. その他のこと

プラス

- ・普段より多い人数で遊べるから。
- ・質問回数、少なくなる。
- ・クラスの人と遊んだことがないから。

マイナス

- ・差別。「帰国生」だからなど。

5. 混入体験学習のクラスの学習は、どの教科でプラスになると考えますか。その教科に○をつけ、その中の1つについて理由もかいてください。また、マイナスになると思う教科があれば、その教科に×をつけ、その中の1つについて理由もかいてください。

プラス

- ・国語：いろいろな意見が出そうだから。
- ・国語：今までは帰国生の意見しか聞いていなかったが、今度は一般生としても意見が聞けて国語が学べるから。
- ・英語：帰国子女なので英語が1番できるから。
- ・国語：他のクラスの意見や新しい考えを学べるから。
- ・音楽：皆で声を一緒に出すため、チームワークがよくなる。
- ・音楽：四組の時はいつも少人数で歌っていたので、たくさん的人数でも歌ってみるのはいいと思います。
- ・国語：よく日本語で読むとか書ける人のまわりにいると自分もよくなるかも。
- ・国語：4組とは考え方が違うと思うから。
- ・数学：人数が多くなったことで、いろいろな意見がでると思うからです。
- ・英語：日本のちゃんとした文法など、日本の英語文法が学べるから。
- ・理科：実験などで、仲良くなる機会ができるから。
- ・異文化：みんなと英語でしゃべるのが楽しみ。

マイナス

- ・英語：うまい人（4組の人）の英語を聞く回数が減るから。
- ・理科2：得意だった科目が人数が増えてしまったらあてられる回数も少なくなる。
- ・数学：私にとっては難しい教科だから。
- ・英語：レベルが違うから（他全部の教科において）
- ・英語：少しレベルが落ちる。
- ・国語：国語がにがてでついていけるか心配だから。
- ・国語：もともと国語がにがてなので、人数が多くなったところで話などが聞きにくくなるからです。
- ・家庭：人数が多くなると、好きではない教科は授業を聞かないでさぼってしまいそうだから。
- ・国語：今までは自由に自分の意見を述べていたけど、これからはあまり発言できないかもしれない。
- ・書写：みんな私より上手だから。

6. 混入体験学習のクラスの2週間で、あなたが積極的にしてみたいことがあれば、具体的にかいてください。

- ・クラス全員の人と話をし、友達になる。
- ・英語がどれくらい出来るかやってみたい。
- ・勉強です。理由は、一般生についていけなかったらこまるので、もっと積極的にしてみたいです。
- ・2年生になる前の混入体験学習なので、精一杯がんばりたいです。
- ・積極的に手を挙げて発言していきたい。
- ・二年生に向けて友達をたくさんつくりたい。でも不安です。
- ・周りの人に負けないように勉強をがんばりたいです。
- ・いろんな人たちと話していきたい。

- もっと友達を増やしていきたいと思います。それは、いままで、体育の時間にしかいっしょに行動しなかったからです。なので、皆といっしょに行動したりして、友達をふやしていきたいです。
- 来年に向けて、がんばってみんなに良い印象を残したいです。できれば友達も少し作りたいです。
- 自分から話しかけたり、会話に入っていったりして友達を作りたい。
- 友達を作るように。

7. 先生に望むことや、願いがあったらかいてください。

- あまり班行動はさけて欲しい。
- なるべく授業のときはあてないでください。
- クラスに残りたかったです。
- できれば4組に他のクラスの人を入れてほしかったです。4組の人をばらまいてほしくはなかったです。あと、授業中私にできれば氏名しないでください。
- 発言する事で、イヤミを言われたりする環境を作らないようにしてほしい。

<資料1> 混入体験学習 事後アンケート

1. 混入体験学習も2週間の学校生活はどうでしたか。	一般生					帰国生
	A組	B組	C組	D組	合計	
ア. よかった	21	29	24	26	100	8
イ. よくない	0	0	2	0	2	0
ウ. どちらともいえない	0	3	5	6	14	5
2. 今回の混入体験学習が2週間だったことについて、あなたはどのように考えますか。	一般生					帰国生
	A組	B組	C組	D組	合計	
ア. もっと長い方がよい	15	15	7	15	52	4
イ. もっと短い方がよい	1	0	2	1	4	2
ウ. ちょうどよい	5	15	18	13	51	5
エ. わからない	0	2	4	3	9	3
3. 2の質問で、ア または イ と答えた人に質問します。どれくらいの期間がよいと思いますか。「何日ぐらい」あるいは「何週間ぐらい」と答えてください。	一般生					帰国生
	A組	B組	C組	D組	合計	
1年ぐらい	1	0	0	0	1	0
3ヶ月ぐらい	0	0	0	1	1	0
6週間ぐらい	0	1	0	0	1	0
4週間ぐらい	13	8	1	9	31	1
3週間ぐらい	1	5	6	4	16	3
1週間ぐらい	1	0	0	0	1	1
1～3日ぐらい	0	0	2	1	3	1

4. 混入体験学習の2週間について、どのような面でプラスになりましたか。また、マイナスになった面はありましたか。次の各項目について、プラスになったものには○を、マイナスになったものには×をつけ、その理由を具体的に書いてください。	一般生					帰国生	
	A組	B組	C組	D組	合計		
ア. 教科の学習	○	19	31	24	30	104	10
	×	1	0	3	0	4	3
イ. 友人関係・友達作り	○	21	31	28	27	107	10
	×	0	0	1	3	4	1
ウ. 学習態度・やる気	○	18	23	18	18	77	8
	×	1	1	3	1	6	2
エ. 新しい班での活動(昼食も含む)	○	16	23	17	14	70	9
	×	3	2	4	7	16	2
オ. その他のこと	○	15	11	6	0	32	2
	×	6	1	0	0	7	1
5. 混入体験学習の経験をもう一度したいと思いますか。	一般生					帰国生	
	A組	B組	C組	D組	合計		
おおいにそう思う	15	19	22	18	74	7	
特別にそう思わない	6	13	9	14	42	8	

- ・ 集計結果4組(帰国生)の記述の部分

4. 混入体験学習の2週間について、どのような面でプラスになりましたか。また、マイナスになった面はありましたか。次の各項目について、プラスになったものには○を、マイナスになったものには×をつけ、その理由を具体的にかいてください。

ア. 教科の学習

プラス

- ・ 皆で協力したり、話し合うことができた。
- ・ 分からないことを教えたり、教えてもらったりしたから。
- ・ いろいろな意見がきけてよかった。
- ・ 班での学習が多く、教科の学習に影響したと思います。
- ・ 色々な意見が聞けたから。
- ・ 多くの人の意見が聞けてよかったです。
- ・ もっと色々な人のいけんが聞けて、どんなに日本語がへたか気づいたのでがんばらなくっちゃと思いました。
- ・ いっぱいの生徒と学習して、4組では経験できないことをできてよかった。
- ・ 英語など基本を覚えられるのでよかった。
- ・ みんなちがういけんで、おもしろいいけんがあったから。

マイナス

- ・ 答は分かっているのに、発言をあまりしなかった (少しはした)。
- ・ あまりせっせよく的に手をあげられなくて、はずかしかった。
- ・ 四組の時とは違い、社会・美術などの多教科において授業中の私語がとても気になった (特に男子)。

イ. 友人関係・友達作り

プラス

- ・ D組の男女両方とも友達になれた。
- ・ 男子も女子も仲良くできたから。
- ・ 友達をいっぱいつくれたと思う。
- ・ 友達がふえたのでよかった。
- ・ 班の人達がとても親切でいい人ばかりだったので、思っていたよりもずっと早く友達ができました。
- ・ 新しい友達が出来たから。
- ・ 新しい友達を作る事ができてよかった。
- ・ 色々な人に話してとてもたのしかったです。
- ・ 班の女子は全員知らなかったけど、仲良くなれてよかった。
- ・ みんなやさしかったのでよかったと思います。

マイナス

- ・ 班の人など仲良くしてくれましたが、やはり四組の人といてしまうことが多かった。

ウ. 学習態度・やる気

プラス

- ・ 少しよけいなおしゃべりもあったが、発表や発言の面では、みんなよくするので。

- ・皆と一緒にやることで、授業が楽しかった。
- ・学習態度はともかく、みんなからやる気を感じられたので、僕もがんばれた。
- ・日本語がへたなのに気づき、もっとがんばろうと思いました。
- ・皆においつこうとがんばりました。
- ・人数が多いとやる気がでる。
- ・やる気があった。前よりやるきあった。

マイナス

- ・緊張して手をあまり挙げられなかった。
- ・人数が多かったから。

エ. 新しい班での活動(昼食も含む)

プラス

- ・皆と話し合えた。
- ・班でしっかり話し合えたから。
- ・鍋の会などでいっしょに活動してつくれたのでよかったです。
- ・色々な話ができただから。
- ・新鮮な感じだったので、とてもよかったです。
- ・人数が多かったので、もっといつもよりも楽しかったです。
- ・じこちゅうしんてきな男子（全員で）四組の私の悪口を言っていた（コソコソと）。
- ・とても楽しく過ごせたので良かったです。
- ・四組ではあまり班での活動がなかったので、「鍋の会」などを通して協力することができたと思う。
- ・楽しかった。

マイナス

- ・しらけた。あまり会話がなかった。

オ. その他のこと

プラス

- ・ノートの取り方：特に理科の授業でのノートの取り方が参考になった。
- ・鍋の会：皆で（半）、楽しく作れたので良かったです。

マイナス

- ・レク：〇〇（４組）さんはとても人気者で皆が話しかけていたが、私は一人ポツンと頑張って話そうとしたのに一人になった。

6. 混入体験学習のクラスの2週間で、あなたが積極的にしていたと思っていたことができた、あるいは、今までと違う自分を発見した、などのことがらがあったら具体的にかいてください。

<男子>

- ・積極的にしたこと：友達に話しかけた。班の中で意見を言った。
今までと違う自分を発見できなかった。でも少し四組にいた時よりも積極的になったと思う。
- ・初日はとても静かにすごしていて、あまりみんなと話すことがなかった。英語で少しはリードできた。
- ・積極的に友達を作れたと思う。

- ・ぼくが積極的にしたかったことは友達をつくることだったので、それができてよかったです。
- ・友達作りが積極的にできました。
- ・積極的に話したことの無い人と話してみたいと思っていた。そして、それを達成することが半分できたと思う。男子のみんなとはたぶん全員話すことができたけど、女子のみんなとは班の人以外、話す機会がなく、あまり話すことができなかったから。今までと違う自分を発見したと思う。それは、色んな人と積極的に話すようになったことだと思う。
- ・僕は新しいクラスで2週間楽しむことが目標で、それを達成できたので良かったです。

<女子>

- ・はじめがはず、いろいろな人に話せし、わからないときは周りに聞き、してみたかったことはできました。それと自分のいけんも言えたのでよかったです。
- ・発言したからといって、イヤミを言われたりはしなさそうです。
- ・性格が違う自分が居た。4組の大切さが分かった。
- ・私は積極的に友達を作りたかったのですが、あまり作れませんでした。なので、2年生になったらもっとちゃんと積極的にやりたいです。
- ・2年生になった時に困らないように友達をたくさんつくりたかった。班の行動や話し合いに積極的に参加して四組としての意見なども伝えたかった。
- ・自分のしゃべる自信と話をはじめめる自信を作れた。日本語の勉強になった。

7. この混入体験学習をしたことによって、2年生の新しいクラスへの期待、あるいは心配に変化はありましたか。その変化についてかいてください。

<男子>

- ・2年生の新しいクラスになる時の覚悟ができた。心配は混入体験学習の前と違って、全て解決できた。
- ・C組（2組）は混入体験学習する前は、少しいやなクラスと思っていたが、みんなとすごうちに、とてもいいクラスだと思った。C組（2組）のメンバーとは2年になっても仲良くすごせると思う。D組（1組）とは今まで一緒に過ごしたり、ふれ合うことがなかったので、D組（1組）の人たちと仲良くできるかは心配です。
- ・心配は特にもととなかった。新しいクラスへの期待は少し大きくなった。
- ・友達がいっぱいできたので、あまり心配はなくなりました。あと皆と友達になったことで、授業でもいろいろなことがきけたりするので心配がへりました。
- ・この混入体験学習をしたことで、2年生になって普通の日本人の人達と一緒に勉強できることがよりいっそう楽しみになって来ました。
- ・混入体験するまでは、2年生になったときはどんなクラスになるんだろうと不安しかなかったけど、今回の混入体験で新しい友達が増えたことで、2年になるということへの不安はなくなり、2年になるということへの期待でいっぱいになった。2年生になったときに混入体験で友達になった人と一緒になったら、仲良くしたいと思う。
- ・もっと勉強面でがんばらないといけない事は変化していないが、2年生への新しいクラスへの不安は少し減ったと思う。

<女子>

- ・私は2年生の新しいクラスが楽しみです。D組（1組）やB組（3組）の人とはあまり話し

ていないが、そのうちなれるだろう！！と思い、とても楽しみです！！

- 一般生は、仲良しグループがすでにできてしまっているから、仲良くなれるか心配だ（私が）。
- 2年生になったら本当に学校生活が楽しめるかしんばいです。自分が努力して（友達ができるように）。でもむりそうです。
- 心配なことは「友達ができるか」です。でも、今学期にやった混入体験学習おかげで少しは気持ちが楽になったのでよかったです。
- 最初は他のクラスの人と交流するのが少し恐かったのですが、となりの人や班の人がとても仲良く接してくれて安心しました。またこれまでの一般生の人達に対する噂やイメージなどと全く違う面もあり、本当の事を知る事ができて良かったです。でもやはり四組の人の方が話していて共感できる事が多いので楽しいです。でもとても良い経験になったと思います。
- とても心配になりました。B組（3組）の人はとても優しくかったので、反対に他のクラスでやっていけるのか心配になりました。知っている友達、特に仲の良い友達はいなかったのもとても大変でした。できれば、来年は帰国生と一緒にのクラスになりたいです。帰国生の人の方が話がはずむし、お互いに色々苦勞がわかるので、とてもはなしやすいし、なじみやすいので、帰国生をあるていどくつつかせたほうが良いと思います。
- しんばいない。楽しみ！！